



# 標的型攻撃メール訓練サービス

## KIS MailMon

### スタートガイド：基本編

1. はじめに	..... P 3
2. KIS MailMonの特徴	..... P 6
・ KIS MailMonの概要をご説明。	
3. 訓練メールの種類と考え方	..... P 8
・ 訓練のタイプについてのご説明と取得できるステータスについてご説明。	
4. 訓練実施の流れ	..... P19
・ 訓練全体の流れをご説明	
5. 訓練実施手順	..... P20
・ 事前準備から具体的な訓練の実施手順をご説明	
6. その他	..... P46
・ 契約内容・利用状況等の確認	
・ ご参考資料	

この度は、標的型攻撃メール訓練サービス「KIS MailMon」をお申込みいただきまして、誠にありがとうございます。本書では、標的型攻撃メール訓練ご担当者様が、弊社サービスにおいて訓練をスムーズに実施いただけるよう、「KIS MailMon」の訓練実施までの流れを説明しております。

訓練メールの本文やリンク先の画面などをカスタマイズされたい場合は、KIS MailMonのカスタマイズガイド：応用編をご参照ください。

ご利用に際してご不明な点は、以下宛にお問合せ下さい。

お問合せ先：KIS MailMon サポート  
[support@kis-sec.co.jp](mailto:support@kis-sec.co.jp)

KIS MailMonは、標的型攻撃メール訓練のセルフ型クラウドサービスです。システムは直感で利用できるセルフ型で提供し、訓練実施前や訓練実施中、訓練実施後の課題や相談に対してコンサルティングを行います。コンサルティング型とセルフ型の一体化したサービスです。訓練実施者の負担を軽減し、社員の意識改革を実現できる標的型攻撃メール対策です。



### 【訓練実施者】

インターネットへ接続できるパソコン、ブラウザで利用できます。

#### ＜推奨環境＞

- OS : Windows10以降  
ブラウザ : Microsoft Edge / Google Chrome  
各ブラウザの最新版に対応しています。

### 【訓練対象者】

パソコン・Mac・スマートフォン等、メールが受け取れる環境が必要です。

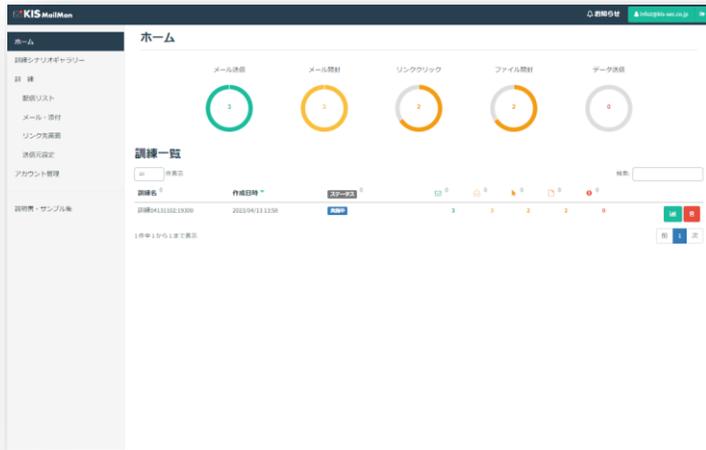
### 【サポート窓口】

- お問合せ先 : KIS MailMon サポート  
メールによるお問合せ : support@kis-sec.co.jp  
サポート時間 : 平日9:30～17:30 (土日祝祭日、年末年始、弊社指定休日を除く)  
製品ページ : <https://www.kis-sec.co.jp/kis-mailmon>

訓練シナリオギャラリーは、訓練にそのまま使える題材を提供しています。そのまま使っていただくことはもちろん、訓練シナリオを基に編集することでユーザーオリジナルの訓練内容を作成することができます。

標的型攻撃メールの見極めポイントを押さえた初級編～上級編といった観点で訓練シナリオを用意しています。英語版の訓練シナリオも約100種類用意しています。メール本文やリンク先画面をカモフラージュできるように複数の訓練用URLを用意しています。

昨今急増している**サポート詐欺**や**QRコード詐欺**（クイッシング）対策のための訓練に対応したシナリオも用意しています。 **New**



<KIS MailMon ホーム画面>



<訓練シナリオギャラリー>

訓練対象者のメール開封(\*1)、メール本文のURLクリック、URLクリック後のデータ入力、添付ファイルの開封、添付ファイル開封後のクリックなどの細かなアクションステータスを記録し、リアルタイムで把握することが可能です。



訓練対象者一覧のアクションステータスを確認できます。



訓練対象者毎にアクションステータスを確認できます。

※1) メール開封は、メール本文にセンサー(画像リンク)を埋め込み、その画像が読み込まれたら「メール開封」としています。  
よって、Outlookなど画像をデフォルトで読み込まない（プレビュー表示など）設定のメーラの場合は、ステータスが取得できない場合があります。

※その他、メーラーや設定・環境によってはステータスが取得できない場合があります。トライアル版でご確認ください。

昨今の攻撃メールは大きく分けて、「URLリンク型」「添付ファイル型」の2種類が主流となっています。KIS MailMonはその2種類の攻撃メールに対する訓練を実施することが可能です。更にURLリンク型の拡張型として「リンク&データ送信型」、URLリンク型と添付ファイル型を同時に訓練できる「複合型」も訓練可能となります。各型の流れは、次のページからご案内しています。

### URLリンク型

精巧に真似た偽サイトのリンクをメールに記載し、あたかも公式からの通知として偽装し、個人情報やID,パスワードを入手することを目的としている



### 添付ファイル型

ワードやエクセルに偽装したウイルスをメールに添付し、ファイルを開いた受信者の端末を直接ウイルス感染させることを目的としている



<URLリンク型> 訓練対象者がメール内のリンクをクリックするかどうかを評価します。

✓ 取得可能なステータス

## URLリンク型訓練の流れと確認項目



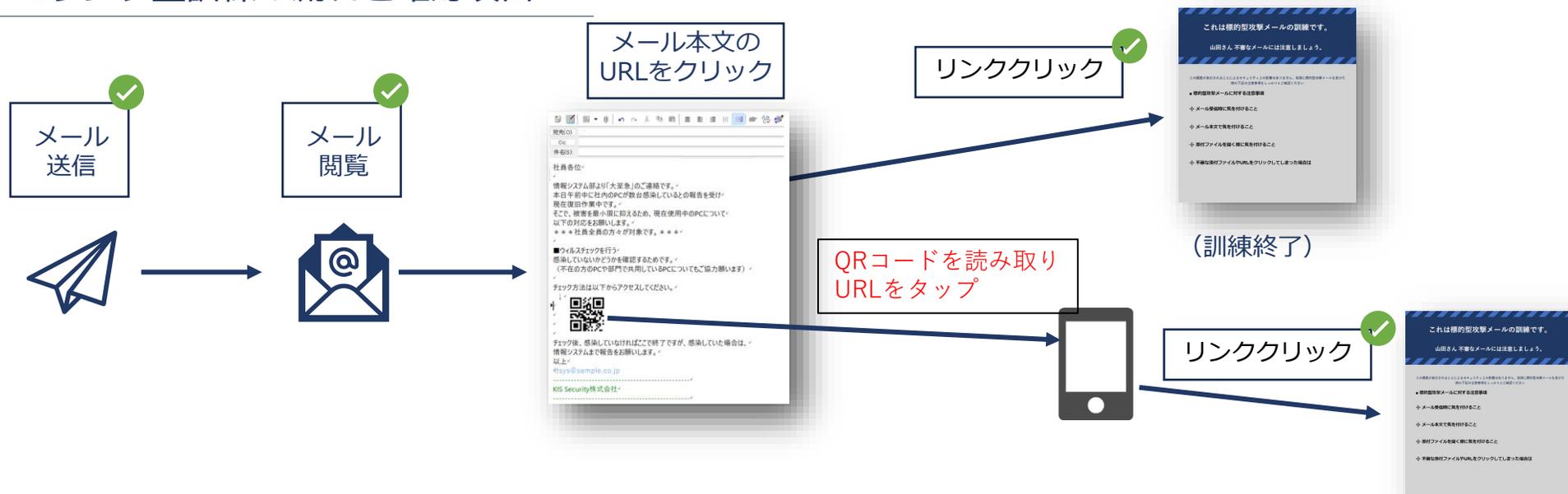
※メーラーや設定・環境によっては、ステータスが取得できない場合があります。トライアル版でご確認ください。

<QRコードタイプ> 訓練対象者がメール内のリンクをクリックしたり、QRコードを読み込んだかを評価します。QRコードをスマートフォンで読み取り、URLをクリックすることでリンククリックのアクションを記録します。最近急増しているQRコード詐欺への対策として訓練いただけます。

※訓練結果の詳細情報やイベントリストには、QRコードを読み取ったことが判別できるように記録されています。

取得可能なステータス

URLリンク型訓練の流れと確認項目



ステータスは、全て記録します。例えば、リンク先画面をPCやスマホで表示させた場合、それぞれのリンククリックのステータスを記録します。

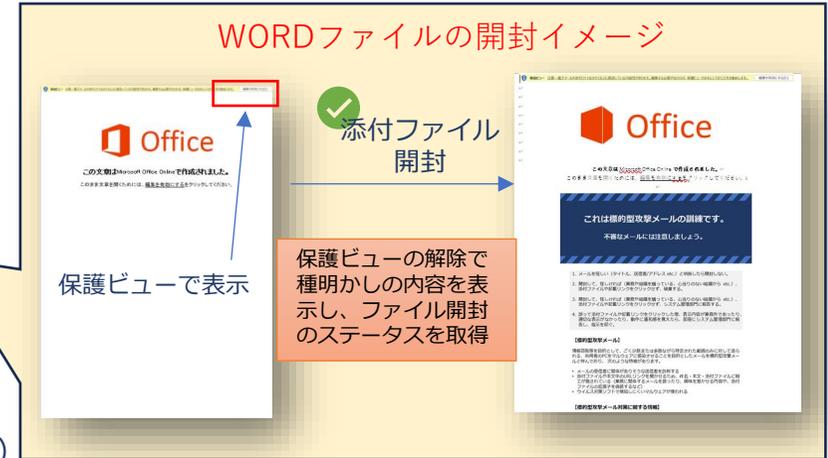
※メーラーや設定・環境によっては、ステータスが取得できない場合があります。トライアル版でご確認ください。

<添付ファイル型> 訓練対象者がメールや添付ファイルを開封するかどうかを評価します。

添付ファイル型訓練の流れと確認項目



ステータスは、全て記録します。例えば、添付ファイルを会社と自宅のPCで表示させた場合、それぞれのファイル開封のステータスを記録します。



WORDファイルの開封イメージ

保護ビューの解除で種明かしの内容を表示し、ファイル開封のステータスを取得

(訓練終了)

(PDFのみ)

ファイル内クリック

(訓練終了)

取得可能なステータス

※メーラーや設定・環境によっては、ステータスが取得できない場合があります。トライアル版でご確認ください。

docx・xlsx・pdf・zipファイルが利用できます。pdfファイルのファイル開封ステータスを記録するセンサーはJavaScriptを用いています。従ってJavaScriptを無効にされている場合は記録できません。

zipファイルを使用した時は、zipファイル解凍後、pdf・docx・xlsxファイルを開いた時にファイル開封ステータスを記録します。

<複合型> 訓練メールにURLリンク型と添付ファイル型を同時に訓練できる複合型訓練が可能です。

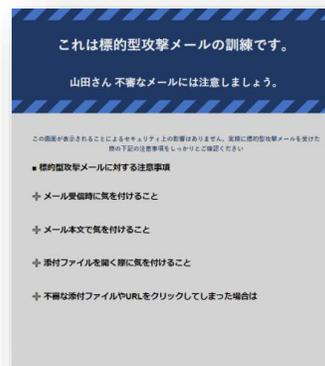
複合型訓練の流れと確認項目

✔ 取得可能なステータス

<複合型のメール本文>



✔  
 リンククリック  
 (通常タイプ)



(保護ビューで表示)

✔  
 ファイル開封



<リンク&データ送信型：データ入力タイプ> 訓練対象者がメール内のリンクのクリックに加え、リンク先画面の「データ入力」画面にデータを入力したかどうかを評価できます。

✓ 取得可能なステータス

## リンク&データ送信型訓練の流れと確認項目

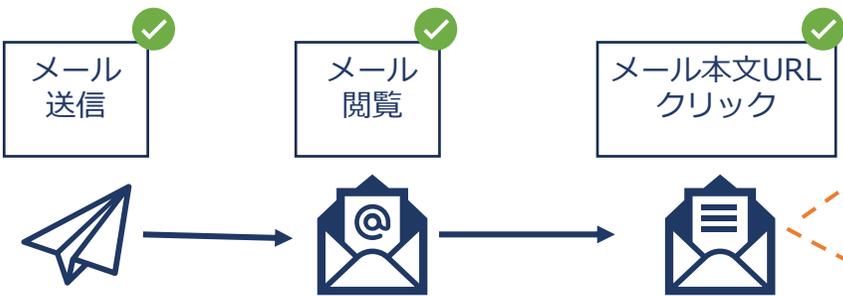


ステータスは、全て記録します。例えば、リンク先画面をPCやスマホで表示させた場合、それぞれのリンククリックのステータスを記録します。

※メーラーや設定・環境によっては、ステータスが取得できない場合があります。トライアル版でご確認ください。

<リンク&データ送信型：サポート詐欺タイプ、教育重点タイプ> 訓練対象者がメール内のリンクをクリックに加え、リンク先画面（サポート詐欺タイプ、教育重点タイプ）の該当箇所をクリックしたかどうかを評価することができます。教育重点タイプの訓練を実施した場合は、教育資料まで到達したかが確認できます。

## リンク&データ送信型訓練の流れと確認項目

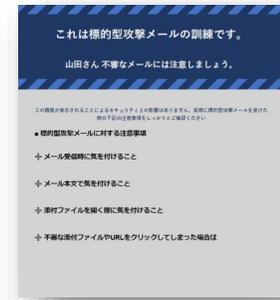
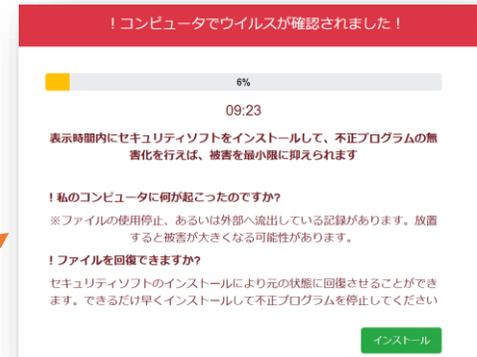


ステータスは、全て記録します。例えば、リンク先画面をPCやスマホで表示させた場合、それぞれのリンククリックのステータスを記録します。

✓ 取得可能なステータス

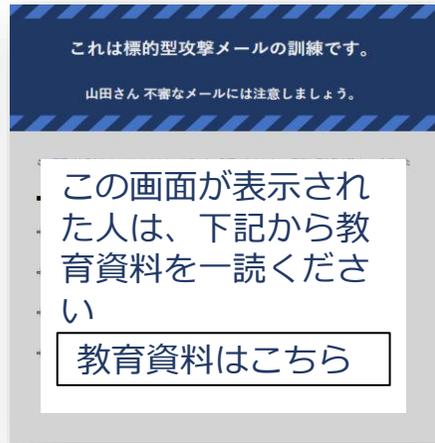
※メーラーや設定・環境によっては、ステータスが取得できない場合があります。トライアル版でご確認ください。

### <サポート詐欺タイプ>



✓ データ送信

### <教育重点タイプ>



✓ データ送信

### <教育資料>

リンク先page 2で教育コンテンツを表示

1. メーラー別一覧
2. Outlook for Windows(classic)：アプリ
3. Outlook for Windows(new)：アプリ
4. Outlook Web版：ブラウザ
5. Gmail：ブラウザ
6. Thunderbird：アプリ

以降各ページのアクションステータスは、以下の条件で記録しています。

アクション	条件
メール送信	KIS MailMonからメールが送信されたこと(訓練開始)
メール開封	メールを開きセンサー画像を読み込むこと
リンククリック	メール本文内のURLをクリックすること
添付ファイル開封	
PDF開封時	PDFに仕込んだJavaScriptが動作すること
PDFファイル内画面クリック	PDFファイルの表示後にページをクリックすること
Word	ファイル内の画像を読み込むこと
Excel	ファイル内の画像を読み込むこと
リンク先データ入力/送信	入力画面の送信ボタンをクリックすること

形式	メーラー	メール送信	メール開封	リンククリック	添付ファイル				データ送信
					Word ファイル開封時	Excel ファイル開封時	PDF ファイル開封時	PDF 表示後にクリック時	
HTML メール	Outlook for windows (classic)(アプリ)	○	画像DLが必要	○	ダブルクリック("開く")でWordが 起動する ○保護ビューの「編集を有効に する」をクリックすると内容が 表示される  シングルクリック("プレビュー") ×プレビュー表示	ダブルクリック("開く")でExcel が起動する ○保護ビューの「編集を有効に する」をクリックすると内容が 表示される  シングルクリック("プレビュー") ×プレビュー表示	ダブルクリック("開く") ○Acrobatの場合 「セキュリティ警告」 を許可する ×edgeなどブラウザで 表示の場合  シングルクリック 警告表示後「ファイル のプレビュー」を クリック ×プレビュー表示	PDF表示後 どこかをクリック ○Acrobatの場合 毎回「セキュリティ警告」 が表示され、それを許可 する ○edgeなどブラウザで 表示の場合 クリック後そのまま リンク画面が表示	○
	Outlook for windows (new)(アプリ)	○	画像DLが必要	○	シングルクリックでプレビュー画面 の時に"Wordで開く"を選択、もし くは、添付ファイル右クリックより "Wordで開く"を選択 ・「このファイルを開きますか？」 で"開く"を選択 ○Wordが立ち上がり、保護ビュー の「編集を有効にする」を クリックすると内容が表示される  シングルクリック("プレビュー") ×プレビュー表示	シングルクリックでプレビュー画面 の時に"Excelで開く"を選択、もし くは、添付ファイル右クリックより "Excelで開く"を選択 ・「このファイルを開きますか？」 で"開く"を選択 ○Excelが立ち上がり、保護ビュー の「編集を有効にする」を クリックすると内容が表示される  シングルクリック("プレビュー") ×プレビュー表示	ファイル名をクリック後 "開く"を選択 ○Acrobatの場合 ・「このファイルを 開きますか？」で "開く"を選択 「セキュリティ警告」 が出るので許可する ○ダウンロードして Edge等ブラウザで開く そのままリンク画面が 表示される  ファイル名をクリック ×プレビュー表示	PDF表示後 どこかをクリック ○Acrobatの場合 毎回「セキュリティ警告」 が表示され、それを許可 する ○edgeなどブラウザで 表示の場合 クリック後そのまま リンク画面が表示	○

形式	メーカー	メール送信	メール開封	リンククリック	添付ファイル				データ送信
					Word ファイル開封時	Excel ファイル開封時	PDF ファイル開封時	PDF 表示後にクリック時	
HTML メール	Outlook(WEB)	○	画像DLが必要	○	<p>シングルクリックでプレビュー画面の時に"Wordで開く"を選択、もしくは、添付ファイル右クリックより"Wordで開く"を選択 但し、どちらもデスクトップアプリのWordを選択すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Wordを開きますか?」と聞いてくるので"Wordを開く"をクリックする</li> </ul> <p>○Wordが立ち上がり、そのまま保護ビューにならず内容が表示される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>× ブラウザで編集</li> <li>○ ダウンロード 保護ビューの「編集を有効にする」をクリックする</li> </ul> <p>シングルクリック("プレビュー") ×プレビュー表示</p>	<p>シングルクリックでプレビュー画面の時に"Excelで開く"を選択、もしくは、添付ファイル右クリックより"Excelで開く"を選択 但し、どちらもデスクトップアプリのExcelを選択すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Excelを開きますか?」と聞いてくるので"Excelを開く"をクリックする</li> </ul> <p>○Excelが立ち上がり、そのまま保護ビューにならず内容が表示される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>× ブラウザで編集</li> <li>○ ダウンロード 保護ビューの「編集を有効にする」をクリックする</li> </ul> <p>シングルクリック("プレビュー") ×プレビュー表示</p>	<p>プレビュー画面をクリックする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○そのままリンク画面が表示される</li> <li>○ダウンロードしてAcrobatで開く 「セキュリティ警告」が出るので許可する</li> <li>○ダウンロードしてEdge等ブラウザで開く そのままリンク画面が表示される</li> <li>× Onedriveに保存 (Onedriveで開く)</li> <li>×プレビュー表示</li> </ul>	<p>PDF表示後どこかをクリック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Acrobatの場合 毎回「セキュリティ警告」が表示され、それを許可する</li> <li>○Edgeなどブラウザで表示の場合 クリック後そのままリンク画面が表示</li> </ul>	○

形式	メーラー	メール送信	メール開封	リンククリック	添付ファイル				データ送信
					Word ファイル開封時	Excel ファイル開封時	PDF ファイル開封時	PDF 表示後にクリック時	
HTML メール	Gmail (ブラウザ)	○	○	○	ファイルのDLが必要 ○保護ビューの「編集を有効にする」をクリックすると内容が表示される  ×開いてだけで上記操作をしなければ全部が表示されずファイル開封は記録されない	ファイルのDLが必要 ○保護ビューの「編集を有効にする」をクリックすると内容が表示される  ×開いてだけで上記操作をしなければ全部が表示されずファイル開封は記録されない  ×Googleスプレッドでは記録できない	添付ファイルをクリックでプレビュー表示 ○プレビュー画面をクリックするとリンク画面表示 ○ダウンロードしてAcrobatで開く 「セキュリティ警告」が出るので許可する ○ダウンロードしてEdge等ブラウザで開く そのままリンク画面が表示される  ×プレビュー表示	PDF表示後どこかをクリック ○Acrobatの場合 毎回「セキュリティ警告」が表示され、それを許可する ○Edgeなどブラウザで表示の場合 クリック後そのままリンク画面が表示	○
	Thunderbird(アプリ)	○	画像DLが必要	○	・「プログラムで開く」もしくは添付ファイルをダブルクリック ○「Word」を指定して実行。 ファイルが開かれた時点で内容が表示される ・添付ファイルを保存後、「Word」でファイルを開く ○「編集を有効にする」をクリックすると内容が表示される。	・「プログラムで開く」もしくは添付ファイルをダブルクリック ○「Excel」を指定して実行。 ファイルが開かれた時点で内容が表示される ・添付ファイルを保存後、「Excel」でファイルを開く ○「編集を有効にする」をクリックすると内容が表示される。	添付ファイルをクリックでプレビュー表示 ○プレビュー画面をクリックするとリンク画面表示 ○ダウンロードしてAcrobatで開く 「セキュリティ警告」が出るので許可する ○ダウンロードしてEdge等ブラウザで開く そのままリンク画面が表示される  ×プレビュー表示	PDF表示後どこかをクリック ○Acrobatの場合 毎回「セキュリティ警告」が表示され、それを許可する ○Edgeなどブラウザで表示の場合 クリック後そのままリンク画面が表示	○
テキスト メール	Outlook(アプリ)	同上	×		同上				
	Outlook(WEB)		×						
	Gmail (ブラウザ)		×						
	Thunderbird		×						

KIS MailMonでは標的型攻撃訓練の特性上、メールが正常に受け取れない、正常なメールが送付されない事がございます。試験実施前にKIS MailMon機能の正常性確認や配信内容の確認のため、事前テストを実施していただくことを推奨いたします。

## 訓練実施までの流れ

### I 利用登録

利用登録後、システムからIDパスワードが送られますので、受信できていることを確認してください。  
また、トライアル版を申し込みされた方は、利用期間が限定されており、1回の訓練で最大送信者数は10名と制限されています。

### II 本文書の確認

本文書を確認し、訓練実施の流れや具体的な操作方法を学習し、訓練が実施できることを確認してください。  
訓練内容をカスタマイズする場合は「「KIS MailMon」カスタマイズガイド」を確認してください。

### III 初期テストの実施

手順STEP1～5（次ページ参照）を実施し、訓練実施前に正常にメールを受信できるか、想定された内容の訓練メールが配信されるか、アクションステータスを確認できるかの観点にてテストを実施いただき確認いただくことを推奨いたします。  
配信リストの作成、配信スケジュールの設定にて、テスト用の専用設定が設定可能なため、ご活用ください。  
詳細は本書の表題に **テスト時** と記載されたスライド及び箇所を確認ください。

### IV 本番前テストの実施

本番訓練に利用するシナリオを用いて本番前のテストの実施を推奨いたします。  
詳細は本書の表題に **テスト時** と記載されたスライド及び箇所を確認ください。

### IV 本番訓練実施

テストの結果をもとに、必要に応じて環境や設定の変更を行い、手順STEP1～5を用いて、本番訓練を実施してください。

## STEP 0 事前準備

P21～

環境確認

KIS Securityから送付されたIDパスワードを利用し、KIS MailMonにログインできることを確認してください。  
訓練メールが問題なく受信できるように、お使いのメールサービスのフィルターに指定のドメインを追加してください。



## STEP 1 訓練シナリオの選定

P28～

訓練準備

訓練の目的に合わせて、訓練シナリオギャラリーから訓練シナリオを選択し、インポートをしてください。  
用途別や訓練タイプ別にフィルタリングして絞りこみができます。インポート後に編集も可能です。



## STEP 2 配信リストの作成

P31～

訓練準備

テスト時(あり)

一括登録用のcsvファイルをダウンロード後、訓練対象者リストを作成し、インポートをしてください。  
全員や部署別などに分けるなど複数の配信リストを作成できます。訓練シナリオを分けて実施できます。



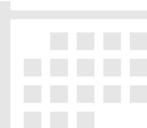
## STEP 3 配信スケジュールの設定

P34～

訓練準備

テスト時(あり)

業務への負荷がかからないように、配信予定日や訓練実施期間など決めてください。  
一括配信や分散配信の設定ができます。再度テスト配信を実施し、内容を確認ください。



## STEP 4 訓練

P36～

訓練開始

テスト時(あり)

STEP 3までの設定をもとに、メール訓練を開始します。



## STEP 5 訓練終了 レポート作成

P39～

訓練終了

訓練実施中はリアルタイムで訓練実施者のアクションステータスの記録状況を把握できます。  
途中経過の報告などでデータを活用可能です。レポートを参考に次回の訓練に役立ててください。



# Microsoft365をご利用の場合

## 高度な配信の設定方法 (Microsoft 365の契約形態によって利用できない場合があります。)

Microsoft365をご利用の場合、事前にこちらの設定を実施いただくことでメールの不達や迷惑フォルダに振り分けられることが回避できます (2025年7月現在弊社調べ)

設定メニューが利用できない場合は、当社までお問合せ下さい。

●管理者アカウントにて、Microsoft Defender portal (<https://security.microsoft.com/homepage>) にサインインします。

①「ポリシーとルール」 - 「脅威ポリシー」をクリックして下さい。



②「高度な配信」をクリックして下さい。



③高度な配信画面の「フィッシングのシミュレーション」を選択し「編集」をクリックして下さい。



④ドメインおよびIPアドレスを入力後、「保存」をクリックして下さい。



KIS MailMonサービスのドメイン(kis-mailmon.jp)に加え、次頁を参考に訓練メールの“送信元”で設定するドメインを登録して下さい。複数のドメインが登録できますので、訓練内容が確定していない時は全てのドメインを登録すると、設定は一回で済みます。

KIS MailMonサービス(160.251.121.141)のIPアドレスを登録して下さい。**注意** もしお客様の環境でMicrosoft365のメールサーバ(Exchange)より前にメールを受けるサーバがあればそのサーバのIPアドレスも登録して下さい。(例)KIS MailMonサーバ->お客様のサーバ->Microsoft365(Exchange) KIS MailMon(160.251.121.141)とお客様サーバIPアドレスを登録下さい。

KIS MailMonサービスのドメイン(kis-mailmon.jp)に加え、次頁を参考に訓練の“訓練用URL”で設定するドメインを登録して下さい。複数のドメインが登録できますので、訓練内容が確定していない時は全てのドメインを登録すると、設定は一回で済みます。

高度な配信の設定内容は、訓練終了後 忘れずに削除ください。

## ●KIS MailMonのIPアドレス

KIS MailMonサービスのドメインおよび送信元・訓練用URLのドメインは、全て下記のIPアドレスです。

**160.251.121.141**

**注意** お客様の環境でMicrosoft365のメールサーバ(Exchange)より前にメールを受けるサーバがあれば、そのサーバIPアドレスも登録願います  
(例)KIS MailMonサーバ --> お客様のサーバ --> Microsoft365(Exchange)  
→ KIS MailMon(160.251.121.141)とお客様サーバIPアドレスを登録下さい。

## ●送信元のドメイン

kis-mailmon.jp (必ず登録ください)

cloud-sys-co.jp	security-alert.info
office-system-co.jp	enet-market.com
cyber-taisaku-co.jp	mufq.jp.kmm-banking.com
soumu-grp.com	keiri-dep.com
system-grp.com	degital-documents.com
yxwhitotupfruxxe.com	mail-online-co.jp (10月削除予定)
micro-sys-co.jp	control.jpn-kotsu.jp (10月削除予定)
mail-qooqle.com	hr-dep-co.jp (10月削除予定)
wtvnqxoqopzhujib.com	jinji-dep.com
accounting-grp.com	techsystem-g.com
kanri-grp.com	keisan-g.jp

## ●訓練用URLのドメイン

**/\*を忘れずにお願いします**

kis-mailmon.jp/\* (必ず登録ください)

cloud-sys-co.jp/*	security-alert.info/*
office-system-co.jp/*	enet-market.com/*
cyber-taisaku-co.jp/*	mufq.jp.kmm-banking.com/*
soumu-grp.com/*	keiri-dep.com/*
system-grp.com/*	degital-documents.com/*
yxwhitotupfruxxe.com/*	mail-online-co.jp/* (10月削除予定)
micro-sys-co.jp/*	control.jpn-kotsu.jp/* (10月削除予定)
mail-qooqle.com/*	hr-dep-co.jp/* (10月削除予定)
wtvnqxoqopzhujib.com/*	jinji-dep.com/*
accounting-grp.com/*	techsystem-g.com/*
kanri-grp.com/*	keisan-g.jp/*

訓練メールで設定するドメインを登録して下さい。複数のドメインが登録できますので、訓練内容が確定していない時は全てのドメインを登録下さい。  
高度な配信の設定内容は、訓練終了後 忘れずに削除ください。

## • Google Workspaceを利用の場合

### ● 許可リストに IP アドレスを追加する方法

(<https://support.google.com/a/answer/60751>)

1. Google 管理コンソールにログインします。
2. 管理コンソールで、  
メニュー アイコン > [アプリ] > [Google Workspace] > [Gmail] >  
[迷惑メール、フィッシング、不正なソフトウェア] にアクセスします。
3. 左側で最上位の組織を選択します。通常はドメインです。
4. [迷惑メール、フィッシング、不正なソフトウェア] タブで  
[メールの許可リスト] の設定までスクロールします。  
または、検索欄に「メールの許可リスト」と入力します。
5. 許可リストに追加したい送信メールサーバーの IP アドレスを入力します。  
**●登録するIPアドレス：160.251.121.141**
6. ページの下部にある [保存] をクリックします

エンドポイントセキュリティESETをご利用の場合、過検知によりリンク先画面がブロックされ、リンク先画面の内容が表示されない場合があります。

(アクションステータスは記録されます。)

説明書・サンプル集の以下ファイルを参考に、設定ください。

<https://www.kis-sec.co.jp/m-contents>

※エンドポイントセキュリティESETをご利用の場合（除外設定）.pdfのファイルをご覧ください。

- 管理サイト ログインページ



- 申込日の5営業日以内に管理サイトへのログイン情報をメールで案内します。

管理サイトログインページ

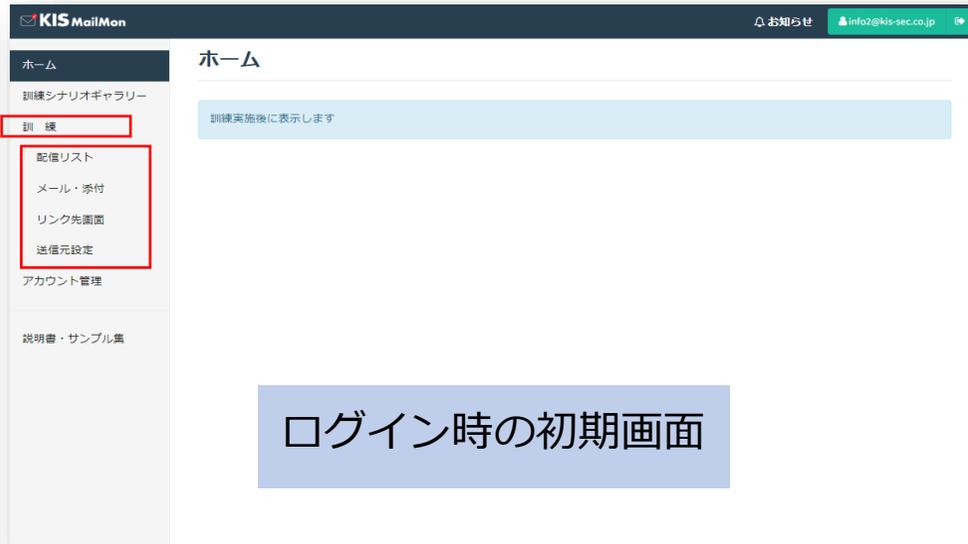
<https://kis-MailMon.jp>

- 初期パスワードの変更



- メールに記載している初期パスワードでログインください。

初期パスワードの設定ページとなります。  
パスワードを変更してください。



訓練を実施される際は、「配信リスト」「メール・添付」

「リンク先画面」「送信元設定」の準備が必要です。

シナリオギャラリーからインポートした場合は

「メール・添付」「リンク先画面」「送信元設定」は既に登録されています。配信リストのみご準備いただければ訓練が開始できます。

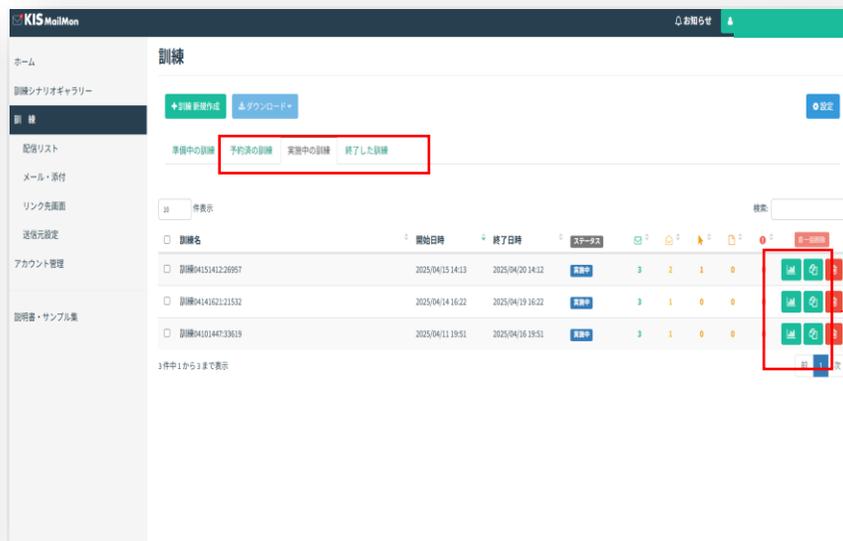
ご自身で訓練を作成される場合はすべての要素を事前にご準備ください。

ご準備ができれば訓練実施（予約）を設定してください。

メニュー一覧	内容
ホーム	訓練実施中や訓練終了後の集計を表示します。訓練別の訓練状況の詳細を確認できます。
訓練シナリオギャラリー	約300種類の訓練シナリオを選択できます。
訓練	訓練実施のスケジュールやメール本文に埋め込む訓練用URL（ドメイン）の変更などの設定を行います。
配信リスト	訓練対象者の登録を行います。
メール・添付	訓練対象者に送信するメール本文や添付ファイルの編集や新規作成を行います。（*）
リンク先画面	メール本文に記載のURLのリンク先画面の内容の編集や新規作成を行います。（*）
送信元設定	送信する訓練メールの送信元情報の設定を行います。（*編集方法はカスタマイズガイド：応用編をご覧ください）
アカウント管理	ログイン時のパスワード変更や訓練の使用状況を確認できます。
説明書・サンプル集	説明書やメール本文、リンク先画面のサンプル集をダウンロードページです。

訓練画面には、一覧画面（準備中/予約済/実施中/終了）と、訓練ごとの訓練(詳細)画面があります。

訓練一覧画面



訓練(詳細)画面



### <準備中の訓練>

- シナリオギャラリーからインポートすると準備中の訓練として登録されます。
- 訓練を新規作成の場合も、途中保存されると準備中の訓練として登録されます。

### <予約済の訓練>

- 訓練開始日・時間等を設定し、訓練実施（予約）をすると、予約中の訓練として登録されます。  
※予約を取り消しすると準備中の訓練に戻ります。

### <実施中の訓練>

- 実施中の訓練が一覧で確認いただけます。
- 訓練ごとに、進行中の状況を確認いただくことも可能です。  
※実施期間の延長や強制終了も可能です。

### <終了した訓練>

- 訓練期間が経過した訓練や任意に終了させた訓練の一覧を確認いただけます。

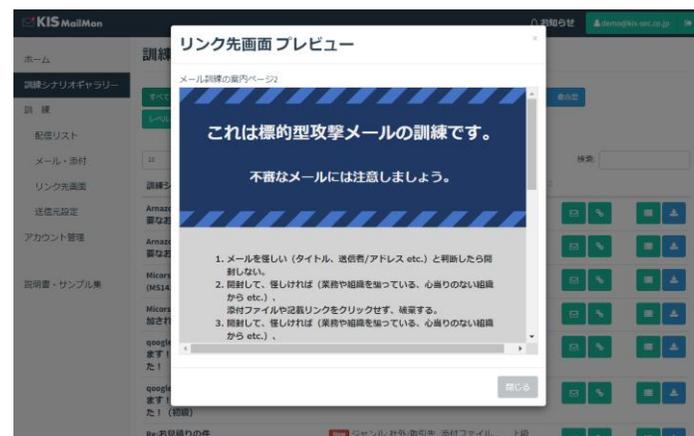
① メニューから訓練シナリオギャラリーを選択ください。

参考 左：メール・添付のプレビュー



② 訓練シナリオのプレビューを確認する。  
(左：メール本文 右：リンク先画面)

参考 右：リンク先画面のプレビュー  
(メール本文のURLをクリックした時に表示されるページ)



## ③ 本書では複合型をインポートします。

訓練シナリオの複合型を選択しインポートボタンをクリックしてください。



## ⑤ 準備中の訓練を表示します。



## ④ 訓練シナリオインポートページが開きます。

インポートボタンをクリックください。

訓練シナリオインポート

訓練名:  
訓練12281624-64800

メール・添付:  
[訓練12281624-64800] 【緊急】 Windows Updateのお問い合わせ

リンク先画面:  
[訓練12281624-64800] メール訓練の案内ページ

送信元設定:  
[訓練12281624-64800] 情報システム部

訓練用URL:  
https://system-grp.com /

キャンセル **インポート**

- インポートの確認画面が表示されますので、インポートボタンをクリックください。

訓練名はわかりやすい名称に変更ください。

「訓練名」以外は変更できません。あらかじめセットした内容をインポートします。

インポートした訓練シナリオが表示されます。  
インポート完了です。

## 訓練シナリオのレベルについて

初級：見分けやすい内容

中級：注意すれば見分けれる内容

(忙しいときに見落としてしまう)

上級：見分けにくい内容

### (中級)

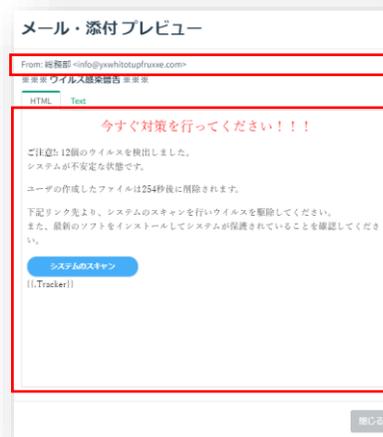


メール本文のシグネチャと送信元が違う

送信元：  
CSTサービス  
<info@office-system-co.jp>

シグネチャ：  
クラウドシステック株式会社

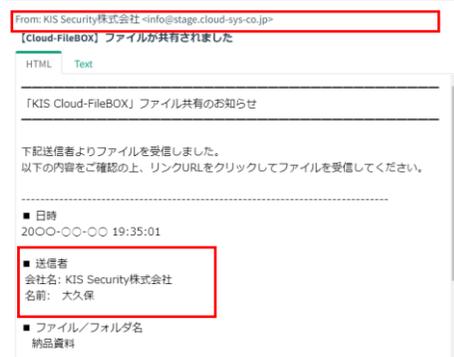
### (初級)



送信元のドメイン：  
アルファベット16桁

メール本文：  
明朝体

### (上級)



メール本文のシグネチャと送信元が同じであるがメールアドレスが違う

送信元：  
KIS Security株式会社  
<info@cloud-sys-co.jp>

シグネチャ：  
KIS Security株式会社

- ① メニューから配信リストを選択し  
新規作成をクリックください。



- ② 新規作成ページが開きます。

- 配信リスト名を入力ください。
- 一括登録用CSV テンプレートをダウンロードしてください。

テスト等で訓練対象が少ないときは個別に登録できます。姓・名・メールアドレス・部署・役職・項目の値を入力し登録ボタンをクリックください。

- ③ 一括登録CSV テンプレートを活用して  
訓練対象者リストを作成ください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	姓 名	メールアドレス	部署	役職	項目	項目2	項目3	テスト対象
2	山田 太郎	sample@kis-mailmon.jp	営業部	部長	項目値	項目値2	項目値3	
3	山田 花子	sample2@kis-sec.co.jp	企画部	課長	項目値	項目値2	項目値3	1
4								

- 姓/名/メールアドレス/部署/役職/項目/テスト対象を入力ください。
- ※テスト対象の場合は「1」を入力してください
- 訓練対象者のリスト入力後、ファイルを保存ください。

注意

テスト時

メールアドレスは必須項目です。

テンプレートには2行目にサンプルが表示されます。2行目を削除して訓練対象者リストを作成をください。

- ④ 作成した一括登録CSVを取り込み保存してください。  
訓練対象者のインポートは完了です。

- 作成した一括登録用CSVを用意し、一括登録ボタンをクリックください。
- 訓練対象者を一覧で表示します。確認後、保存ください。

配信対象者一覧を表示します。

メールアドレスをキーとして登録をします。同じメールアドレスを登録した場合は、1つのみ表示します。

## テスト配信リストの作成について

テスト配信用に関係者のみテストメールを送る宛先設定が可能です。下記の方法にてテスト配信先設定を行ってください。10名までとなります。何回でも可能です。ライセンスは消費されません。

### テスト配信チェックボックスを追加する

注意

配信リスト 新規作成

配信リスト名:

**一括登録** 一括登録用CSVテンプレート

山田 太郎 sample@kis-mailmon.jp 営業部 部長

項目 項目2 項目3  テスト対象

クリア 登録

10 件表示 検索:

姓 名 メールアドレス 部署 役職 テスト

テーブルにデータがありません

0件中0から0まで表示 前 次

CSV出力 キャンセル 保存

### アップロード配信リストのテスト対象項目に1を追加する

注意

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	姓	名	メールアドレス	部署	役職	項目	項目2	項目3	テスト対象
2	山田	太郎	sample@kis-mailmon.jp	営業部	部長	項目値	項目値2	項目値3	1
3	山田	花子	sample2@kis-sec.co.jp	企画部	課長	項目値	項目値2	項目値3	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									

### 注意 テスト配信のご注意

- ・テスト対象者は配信リストに「1」を入力する
- ・テスト対象者は10名までです
- ・テスト配信予約時は、「配信リストのテスト対象者にだけ送信する」にチェックをつけること

### 【配信リスト】

**Q：訓練メールが送信される順番を教えてください**

A：デフォルトでは、アップロードされたcsvファイルに記載の順番ではなく配信リストの編集画面で表示されている状態で保存した順番に送信されます。

姓や名、メールアドレス、部署、役職の右横にある上下▲ボタンを押していただくとそれぞれの項目でソートがかかります。この状態で保存いただくと、表示されている順番で送信されます。

**Q：訓練メールはランダムで送信できますか？**

A：ランダムに送信することが可能です。ランダムで送付される場合は訓練の編集画面で「配信リスト対象者の送信順番をランダムにする」にチェックいただくことでランダムに配信されます。

**Q：配信リストを上書き更新した場合の動きについて教えてください**

A：配信リストはメールアドレスを比較のキーとしております。

元の配信リストと新しい配信リストでメールアドレスが一致していた場合は新しい配信リストの情報が元の配信リストに上書更新されます。

新しい配信リストにあるメールアドレスが元の配信リストに存在しない場合は、元の配信リストに新しい配信リストの情報が追加されます。

元の配信リストにメールアドレスが存在し、新しい配信リストに同じメールアドレスが存在しない場合、元の配信リストのデータは削除されません。（存在しない方にも訓練メールが送信されます）

## 訓練の新規作成について

### 訓練 新規作成

訓練名:

メール・添付:

リンク先画面:

訓練用URL: (「メール・添付」「リンク先画面」の訓練用URLを指定します)  
 /

送信元設定:

配信リスト:  
 合計 0人

テスト対象者にだけ送信する     対象者の送信順序をランダムにする

訓練開始日: 時間:    訓練期間(日数):  
   未指定(直ちに訓練開始)

メール送信レート:  
 最大約 100通/時間    メール送信終了:--  
訓練終了:開始5日後

詳細設定 メール送信レートに拠らず希望時間帯に送信させる場合は、メール送信終了日時を指定してください

- 訓練名 :** 任意の訓練名を入力してください
- メール・添付 :** STEP1でインポートしたシナリオメールを指定してください
- リンク先画面 :** STEP1でインポートしたシナリオのリンク先画面を指定してください
- 訓練用URL :** メール・添付ファイル/リンク先画面のURLを指定できます。特段変更がない場合はデフォルト値で問題ありません
- 送信元設定 :** STEP1でインポートしたシナリオの送信元を選択してください
- 配信リスト :** STEP2で作成した配信リストを確認し、指定してください

#### テスト時

- テスト対象者だけ送信する :** テスト配信時チェックを入れてください **注意**
- 対象者の送信順序をランダムにする :** 登録時の配信リスト順ではなく、ランダムに配信する場合に利用ください
- 訓練開始日 :** 配信を実施する日時を入力してください  
※入力しない場合即時配信されます **テスト時**
- 訓練期間(日数):** データを収集する期間を入力してください  
※訓練期間経過後のアクションは記録できません

- メール送信レート :** 必要に応じて変更してください。  
 詳細設定で日時指定等の送信設定もできます  
(カスタマイズガイド P24を参照ください)

配信スケジュールの設定で保存ボタンを押された場合は準備中の訓練に保存されます。

The screenshot shows the '訓練' (Training) management page. The left sidebar contains navigation options: ホーム, 訓練シナリオギャラリー, 訓練 (selected), 配信リスト, メール・添付, リンク先画面, 送信元設定, アカウント管理. The main content area has tabs for '準備中の訓練', '予約済の訓練', '実施中の訓練', and '終了した訓練'. The '準備中の訓練' tab is active. Below the tabs, there are filters for '10 件表示' and a search box. A table lists training records with columns for '訓練名', '作成日時', and 'ステータス'. One record is highlighted with a red box: '訓練04151113:49784' with a status of '準備中' (Preparation). The bottom of the page shows '1件中1から1まで表示' and pagination controls.

配信スケジュールの設定で訓練開始日を設定し、訓練実施（予約）ボタンを押された場合は予約中の訓練に保存されます。

※訓練開始日を設定しなかった場合は、即時訓練開始となり実施中の訓練に保存されます。

The screenshot shows the '訓練' (Training) management page, similar to the previous one. The '予約済の訓練' (Training Reserved) tab is active. The table lists training records with columns for '訓練名', '開始日時', '終了日時', and 'ステータス'. One record is highlighted with a red box: '訓練04151111:08336' with a status of '予約済' (Reserved). The bottom of the page shows '1件中1から1まで表示' and pagination controls.

訓練が訓練実施（予約）されると訓練画面から詳細を確認することができます。

①配信設定された時刻に順次訓練メールが配信されます。送信レートにより完了時刻などは変動いたします。

②訓練の詳細ページに遷移します。訓練状況を確認できます。

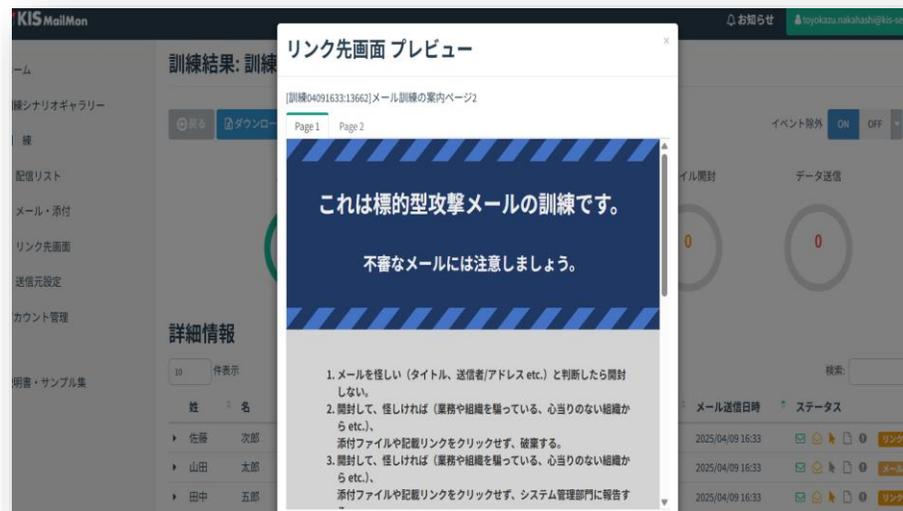


New



- 戻る : 訓練一覧ページへ戻ります。
- ダウンロード : レポートや訓練結果データをダウンロードします。
- メニュー : 予約取消
  - ・予約中の訓練を取消します。取り消された訓練は、準備中の訓練に移動します。
- 終了日時変更 : 訓練終了日を延長します。
- 訓練終了 : ステータスの記録を強制終了します。
- 削除 : 訓練を削除します。
- プレビュー (メール) : 訓練中のメールが画面で確認できます。
- プレビュー (リンク先画面) : 訓練中のリンク先画面が確認できます。
- 更新 : ステータスを最新の情報に更新できます。

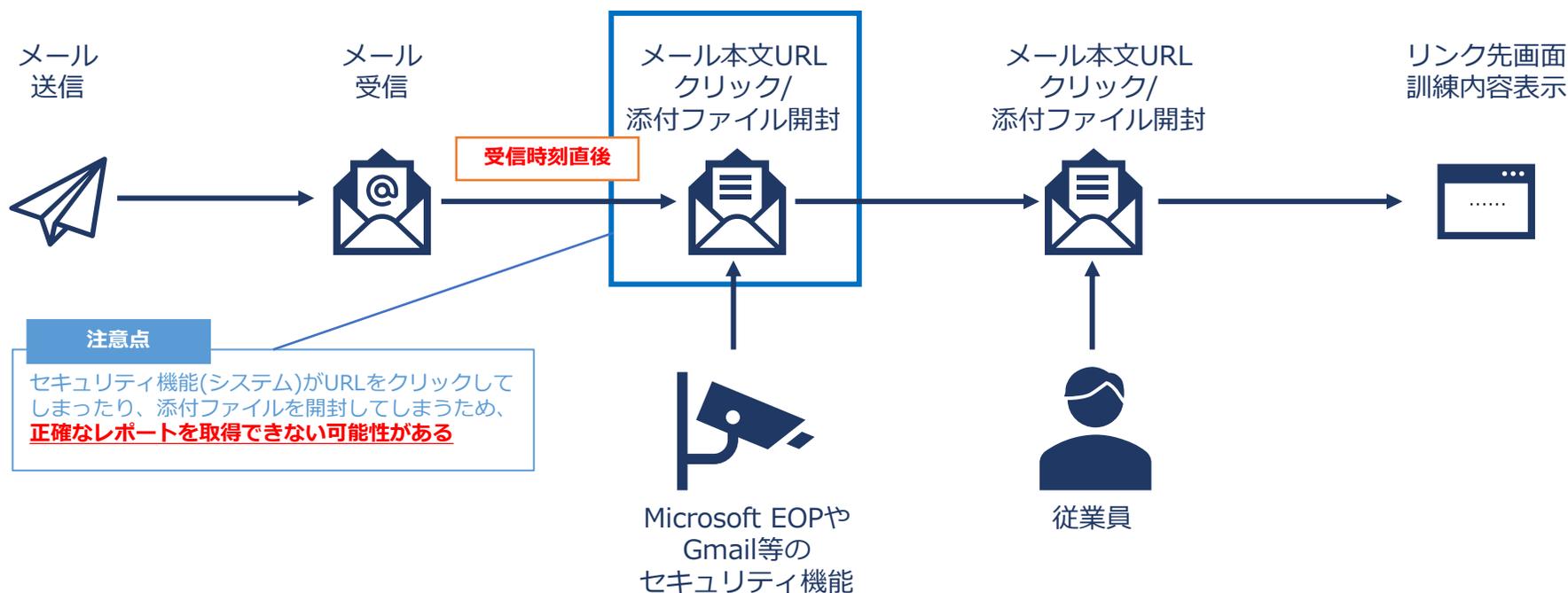
予約済み訓練や実施中の訓練で、どのような内容のメールを訓練で利用しているかをプレビュー画面で確認いただけるようになりました。より効率的な訓練管理を実施いただけます





標的型攻撃メールへの対策としてメールシステムやメーラーにてセキュリティが強化されています。訓練メール送信後、すぐにアクションステータスが記録される（人の手では難しい秒数で数十件記録される）場合や、人がアクションをとっていないにも関わらずステータスを記録される場合は「メール送信後除外秒数」や「除外IPアドレス」を登録して除外集計を実施してください。

## メールセキュリティ機能によるアクションステータス表示



次スライドを参考にセキュリティ機能によるURLクリック/添付ファイル開封アクションを除外してください

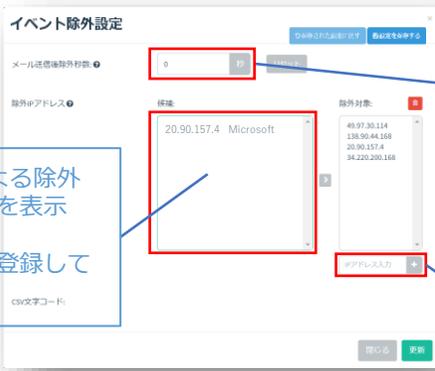
- ① 訓練結果ページを開きイベント除外右側の「▼」ボタンをクリックし「⚙️設定」を選択してください。



参考：除外集計後の表示



- ② 設定画面が表示されます。メール送信後除外秒数もしくは除外IPアドレス（CIDR形式も可）を登録し、保存し適用をクリックしてください。



メール送信後、ステータスの除外秒数を設定  
メール受信の直後に記録される場合に活用します。  
(例：60秒)

お客様にてIPアドレスを追加  
できます。+をクリックして  
登録してください。  
メールチェックシステムを導入されている場合にIPアドレスを登録してください。

KIS MailMon(R)による除外推奨IPアドレス一覧を表示  
右矢印をクリックし登録してください。

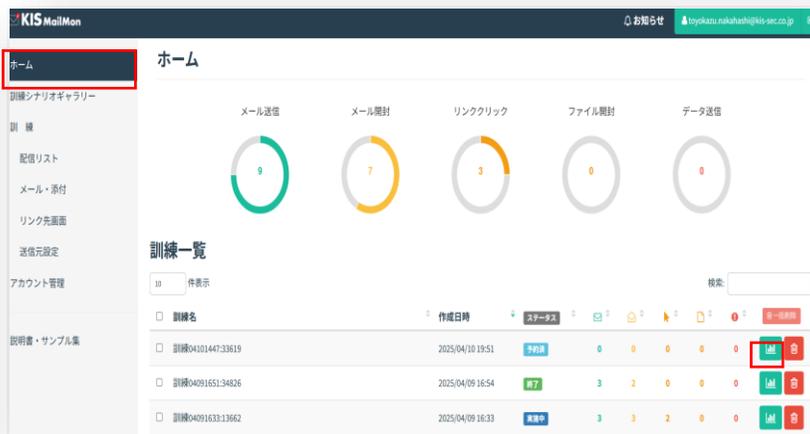
詳細情報 訓練対象者毎のアクションステータス



除外されたアクションステータスはグレーアウトして表示

- ポイント：**
- ・訓練毎に設定（保存）が可能です。
  - ・設定は、一時適用表示、訓練毎の個別設定（保存された設定）、全訓練対象の「デフォルト設定」の順に適用されます。
  - ・全訓練の「デフォルト設定」は、「メール送信後除外秒数」のみ設定可能です。「訓練」メニュー画面右上「設定」ボタンから設定ください。

- ① メニューのホームをクリックし、訓練一覧から該当する訓練の詳細をクリックください。



- ② 訓練結果ページに遷移します。  
ダウンロードをクリックしてください。



- ③ ご利用の目的に応じて以下の各種ファイルをご活用ください。

### ※各種ファイルの説明 レポート (Excel)

訓練結果や訓練実施概要がレポート形式で出力できます。  
報告書としてご利用いただけますし、編集・加工も可能です。



### 訓練結果 (CSV)

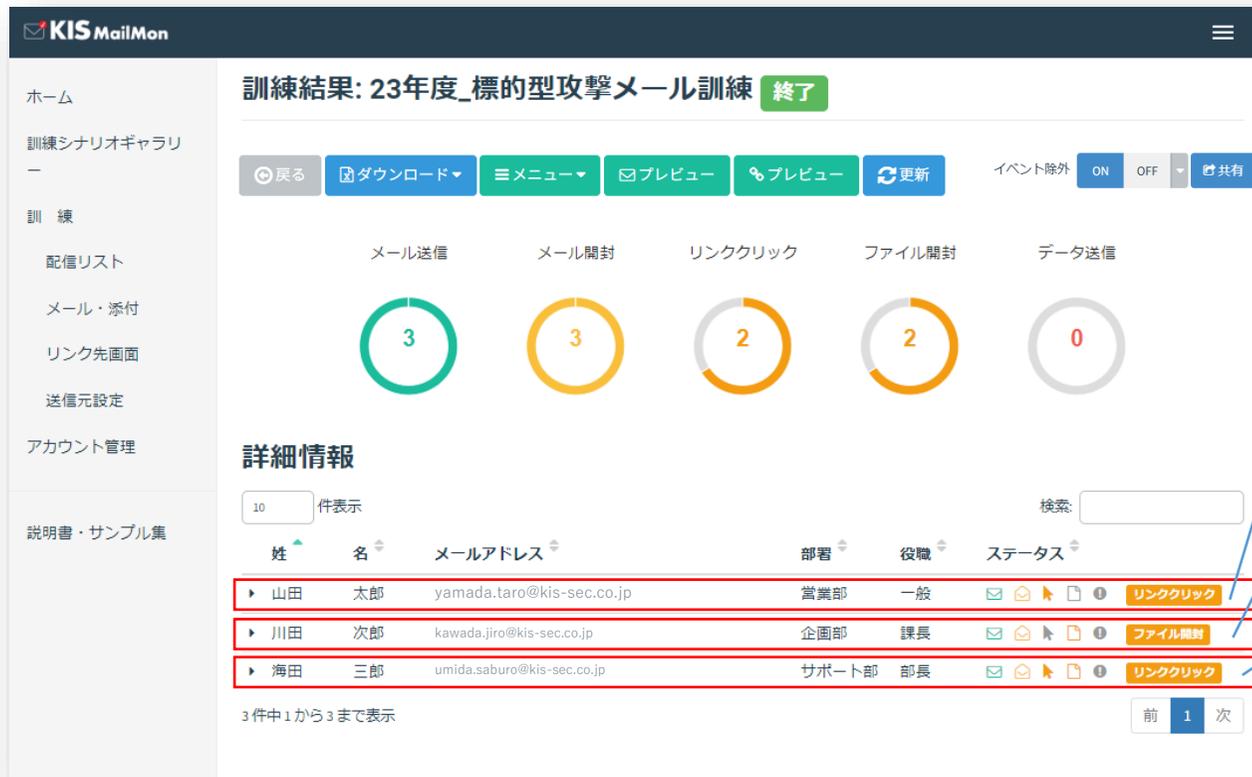
訓練対象者毎にステータスが確認できます。

訓練対象者100名の場合 100行

### イベントリスト (CSV)

詳細分析用として訓練の全てのイベントが確認  
できます。

参考 複合型の訓練を実施した時の管理画面に表示されるステータスについて



<複合型の訓練を実施した時>

リンククリックのアクション

ファイル開封のアクション

リンククリックとファイル開封の両方のアクション

両方のアクションを実施した場合、リンククリックとファイル開封の注意レベルは一緒の為、リンククリックを優先して表示します。

訓練結果.csvのステータスと同じです。

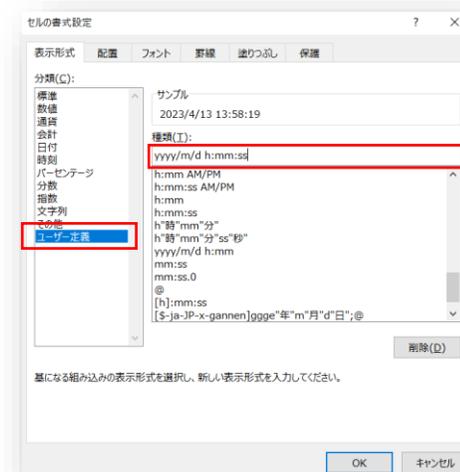
## 訓練結果.csvファイルの補足内容

- 各ステータスの日時には、秒まで記録しています。

Excelでcsvファイルを開き、上書き保存もしくは名前を付けて保存した場合に、秒が削除されます。(Excelの仕様となります。)

### 【秒を表示するため対応方法】

- 日時が記入されているセルに対して、セルの書式設定で「yyyy/m/d h:mm:ss」と入力しOKする。
- 名前を付けて保存を実行し、ファイル形式をxlsxに変更して保存する。

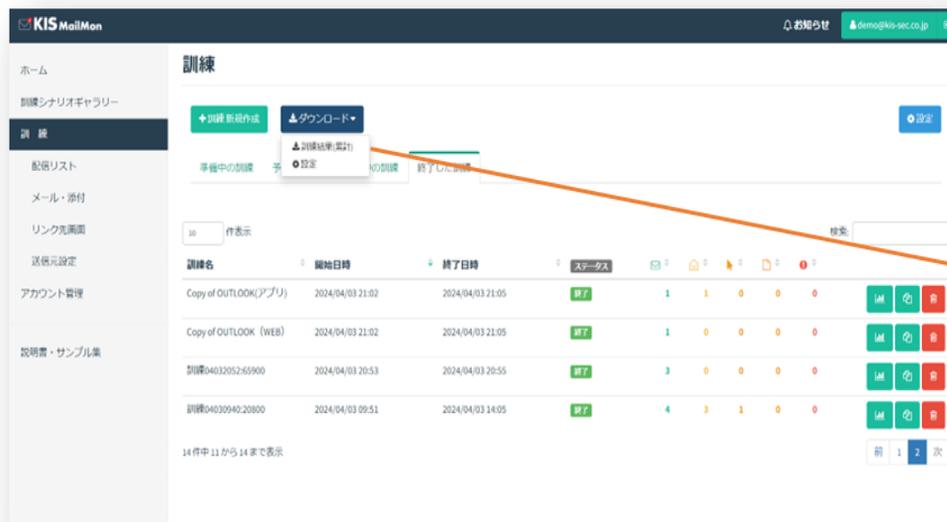


## イベントリスト.csvファイルの補足内容

- IPアドレス：インターネットに直接接続したグローバルIPアドレスを取得しています。
  - 日時：秒が保存されない。(上記の訓練結果.csvの補足内容と同じです。)
  - OS：UserAgentのデータを取得
  - ブラウザ：UserAgentのデータを取得
- ※ UserAgentを非推奨としているアプリやブラウザがあり、正しく情報を取得できない場合があります。IPアドレスやOS、ブラウザはステータス取得時の傾向を把握するための参考値として記載しています。

複数回訓練実施時に、メールアドレス毎に訓練対象者別累計アクションステータスを集計できます。

< 訓練メニュー >

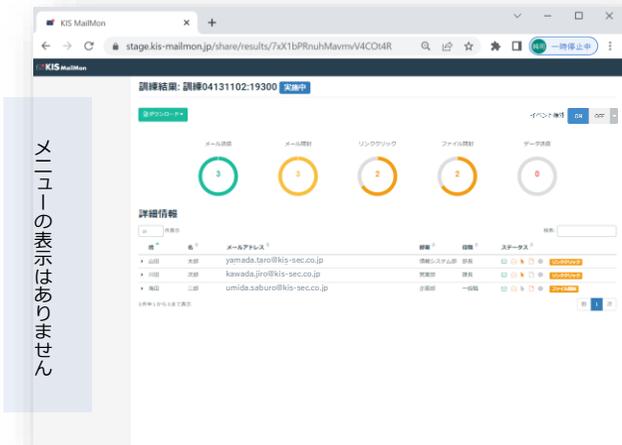


< 複数回訓練の訓練結果.csv > 3つの訓練をまとめてダウンロードした時

姓	名	メールアドレス	部署	役職	項目	項目2	項目3	メール送信	メール開封	リンククリック	ファイル開封	データ送信
山田	太郎	<a href="mailto:yamada.taro@kissecurity.onmicrosoft.com">yamada.taro@kissecurity.onmicrosoft.com</a>						10	10	5	3	0
林田	四朗	<a href="mailto:hayashida.shiro@outlook.jp">hayashida.shiro@outlook.jp</a>	営業部	一般	大阪支店			10	6	3	2	0
川田	三郎	<a href="mailto:kawada.saburo@gmail.com">kawada.saburo@gmail.com</a>	企画部	課長	本社			10	5	3	0	0
海田	次郎	<a href="mailto:umida.jiro@kis-sec.co.jp">umida.jiro@kis-sec.co.jp</a>	営業部	課長	本社			9	2	0	0	0

訓練実施中や訓練実施後に、訓練結果のリンクを第三者と共有することができます。

- ① 訓練結果ページを開き共有ボタンをクリックする。      ③ 共有リンクをブラウザで閲覧する



- ② 共有リンク設定画面が表示されます。作成ボタンをクリックしてリンクURLを作成ください。



共有リンクの画面でできること

- ・ダッシュボードによる訓練状況の確認ができます。
- ・レポートやcsvファイルがダウンロードできます。

上長や他部署の方と共有する場合にご利用ください。

メニューの「アカウント管理」からお客様の登録内容・契約内容・利用状況などを確認することができます。パスワードの変更や、ログイン時の通知メール、2段階認証設定なども可能です。また言語設定で、画面、システム通知メール、レポートなどの日英切替ができます。